

【特集】  
障害者週間

～親亡き後を見据えて～

# 地域で暮らす、育つ、働く



12月3日～9日は「障害者週間」です。障がいには視覚、聴覚、肢体、知的、精神など多くの種類があり、いくつかの障がいがある方もいます。

障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し合う社会のことを「共生社会」といいます。共生社会をつくるためには、障がいのことを正しく理解し、思い込みや偏見をなくすることが大切です。障がいのある方もない方も、共に手を携えて生きる社会は、誰にとっても安心して居心地がいい社会です。私たち一人一人が障がいを自分のこととして捉え、何ができるかを考えて行動することが、お互いを分かち合い、障がいのある人がぬくもりを感じられる社会を実現することにつながります。

同週間をきっかけに、障がいのある方もない方も、同じように自分らしく生き生きと暮らせる共生社会について、みんなで考えてみませんか。

12月7日に開催する「あやともまつり」は障がいのある方と、障がいのある方を支援する事業所などによるイベントです。障がいのことを知るきっかけとして、ぜひ、足を運んでみてください。

障がい福祉課 ☎70・5623

6面には、障がいのある方の手助けができるようになるための講座の情報を掲載しています。困っている方の力になってみませんか。

障がい福祉に対するニーズはますます複雑化・多様化しています。

市では障がいのある方の、重度化や高齢化に加え、保護者の高齢化に伴う「親亡き後」を見据え、地域が抱える課題に向き合い、障がいのある

方やその家族が安心して生活するための取り組みとして、昨年度から、障がいのある方の親が準備しておくべきことについての講演会を定期的で開催しています。他にも、地域で暮らす・育つ・働くために必要となる支

援として、障がい児者相談支援センターで各種相談を受け付けています。

市、事業者、地域住民が協力し、障がいのある全ての方が地域で安心して生活できるまちづくりが求められています。

## 障がい児者相談を利用しませんか

平成29年に開設した「綾瀬市障がい児者相談支援センター」では、月～金曜日の毎日、専門相談員による相談を行っています（予約制）。

生活で困っていることや福祉サービスの利用をはじめ、働くための就労相談、関係機関からの情報提供など相談者からの相談を専門スタッフが受け、総合的、専門的な支援を行います。電話、訪問でも相談に応じます。詳しくは問い合わせてください。

同センター ☎77・1118



### <暮らす> グループホーム

支援スタッフが生活に関する相談や支援を行っています。入居者は、個々の目標に応じて支援を受けながら生活のリズムを整え、地域の一員として暮らします。地域防災訓練や環境美化清掃など、さまざまな地域行事に参加して社会経験を豊かにする生活を実現しています。



### <働く> 地域活動支援センター

精神障がいのある方の日中活動の場です。高等部を卒業したばかりの方から60代まで幅広い年代の方が利用



### <育つ> 放課後等デイサービス

障がいのある子ども達が、放課後を過ごしています。それぞれの個性や興味を引き出すことができるような個別・集団活動による療育を行い、能力に応じた課題に取り組むことで、できた喜びを自信に結び付けられるように支援を行っています。

し、体調に応じて活動しています。企業から請け負った受注作業や自主生産品の作製・販売を行うだけでなく、地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援しています。利用者の所へ出向いて相談に乗ったり、精神障がいについて地域の理解を深める機会として、近隣の方々の協力の下、毎年イベントを開催しています。

### 共に地域で暮らすために

障がいのある方の中には、地域活動支援センターで活動、交流を行っている方や、親元を離れてグループホームで暮らしている方がいます。

同センターでは製品の作製などを行っていますが、自治会のイベントに参加することもあります。多くの障がい者が参加しやすいように、私たちが全力でサポートしています。

グループホームの入所者は自治会にも加入し、ごみ当番も担当するなど、地域での役割を果たしています。地域で共に生きることは非常に大切なこととし、共に生きるためには地域の方を知ってもらうことが大事であると思っています。

今年の3月には、平成17年12月のピースA開所以降初めて、一人暮らしを始めるための退所である、“卒業”者が出ました。卒

業後も自ら「組長にどのようにあいさつすればいいのか」などと考えており、しっかりと生活しています。今後も支援する側が卒業生を増やすよう努力し、支援が必要な方を一人でも多く受け入れられるようにできたらと思います。

人に話せず悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ぜひ相談していただきたいと思います。

●NPO法人 綾瀬あがむの会  
地域活動支援センター  
ファミリー  
所長 山口 明美さん(左)

●NPO法人 綾瀬あがむの会  
グループホーム ピースA  
小川 秋雄さん(右)



つなごう！  
“ともに生きる” in あやせ

12月7日(土)  
11時～14時

## あやともまつり

場 オーエンス文化会館 綾瀬市あやともまつり実行委員会  
障がい児者相談支援センター ☎77・1118

〈あやともライブコンサート(12時30分～14時)〉  
「おかあさんといっしょ」の5代目うたのお兄さんを務めた、かしわ哲さんが率いる「サルサガムテープ」による“バリアフリーロック”！ 定 120人(申込順)  
■12月6日までに氏名、住所(所属先名でも可)、連絡先を相談センターゆいまーる：糸賀 FAX 40・4006か MAIL soudan.yuima-ru@bz01.plala.or.jp

〈その他の内容〉  
●あやとも協議会の取り組み紹介 ●綾瀬市内の福祉サービス事業所の事業案内と利用方法相談 ●福祉施設で作られた新鮮野菜、パン、クッキー、手作り品などの販売 ●体験コーナー(手話、チェアスキー、運転シミュレーション、福祉車両展示など) ●スタンプラリー(定 100人。先着順)

サルサガムテープ since 1994